**R3.2.15**

**未来サポートChallenge**

**放課後等デイサービス自己評価表(公表) 令和2年度**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **チェック項目**  | **はい**  | **どちらともいえない**  | **いいえ**  | **改善目標、工夫している点など**  |  |  |
| 環境・体制整備  | ①  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である |   |  ○ |   |  療育室以外に学習室を設ける等、適切な広さを確保している。 |  |
| ②  | 職員の配置数は適切である |  ○ |   |   |  ほぼ全員資格保持者（言語聴覚士、保育士、社会福祉士等） |  |
| ③  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか  |   |  ○ |   |  肢体不自由の利用者もいる為、特殊トイレも設置している。 |  |
| 業務改善  | ④  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか  | ○  |   |   |  毎週２回の職員会議の他、日々振り返り、話し合いを行っている。 |  |
| ⑤  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか  |  ○ |   |   |  令和２年度は令和２年12月に実施した。 |  |
| ⑥  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか  |  ○ |   |   | 令和２年度は令和3年3月に会報に掲載し、ホームページにも掲載予定。 |  |
| ⑦  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか  |   |   |  ○ |  行っていない。 |  |
| ⑧  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  |  ○ |   |   |  内部研修を行い、外部研修にも参加している。 |  |
| 適切な支援の提供  | ⑨  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか  | ○  |   |   |  各自の特性、発達段階に応じた課題を設定している。 |  |
| ⑩  | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか  |   | ○  |   |  事業所独自のアセスメントツールを使用している。 |  |
| ⑪  | 活動プログラムの立案をチームで行っているか  | ○  |   |   |  必ず複数名で確認している。 |  |
| ⑫  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか  | ○  |   |   |  基本プログラムに従い、かつ、毎週課題を変更している。 |  |
| ⑬  | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか  |  ○ |   |   |  長期休暇にはお楽しみ会の課題を導入している。 |  |
| ⑭  | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか  |  ○ |   |   |  個別活動、集団活動共に各自の状況に応じて設定している。 |  |
| ⑮  | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか  | ○  |   |   |  来所時間、誕生日等の情報、課題の内容の確認を行っている。 |  |
| ⑯  | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか  |  ○ |   |   |  記録を記入する際、振り返りをしながら記入している。 |  |  |
| ⑰  | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか  |  ○ |   |   | 各自の様子、保護者からの依頼等、細かく記録して検証している。 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ⑱  | 定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか  |  ○ |   |   |  令和２年度は半年に１回モニタリングを行った。 |
| ⑲  | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか  |   |  ○ |   |  地域交流については、新型コロナウイルスの影響及び望まない保護者が多数の為、行っていない。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携  | ⑳  | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか  |  ○ |   |   |  担当の職員が参画している。 |
| ㉑  | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか  |   | ○  |   |   保護者を介して、又、送迎時に行っている。  |
| ㉒  | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合子どもの主治医等と連絡体制を整えているか  |   |   | ○  |  現在、該当者がいない。 |
| ㉓  | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか  |   |  ○ |   |  全員ではないが、ケース会議や支援会議には参加している。 |
| ㉔  | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか  |  ○ |   |   |  相談支援専門員に情報の提供を行った。 |
| ㉕  | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか  |   |  ○ |   |   |
| ㉖  | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか  |   |   |  ○ |  大半の保護者が希望されない為、行っていない。 |
| ㉗  | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか  | ○  |   |   |  毎回、参加している。 |
| ㉘  | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか  |  ○ |   |   |  送迎時に直接、また、連絡帳にも記載し、年１回面談を行っている。 |
| ㉙  | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか  |   |  ○ |   | 送迎時や面談時に、子どもへの対応についての相談に応じ、助言を行っている。 |
| 保護者への説明責任等  | ㉚  | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか  |  ○ |   |   |  契約時及び面談時に行っている。 |
| ㉛  | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか  | ○  |   |   |  送迎時、面談時の他、随時相談（電話での相談含む）に応じ、助言を行っている。 |
| ㉜  | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか  |  ○ |   |   | 新型コロナウイルスの影響により、毎年行っている保護者勉強会は行えなかった。  |
|  | ㉝  | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか  |  ○ |   |   |  随時管理者に報告し、保護者対応を行い、職員全員に周知し、以後の対応についても周知している。 |
|  | ㉞  | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか  | ○  |   |   |  年4回Challenge通信を発行した。 |
|  | ㉟  | 個人情報に十分注意しているか  | ○  |   |   |  職員全員、徹底している。 |
| ㊱  | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  |  ○ |   |   |  視覚支援を行う等している。 |
|  | ㊲  | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか  |  ○ |   |   |  「社会福祉法人きぼう」全体で地域の方にも参加していただける「きぼうまつり」を毎年開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により開催できなかった。 |
| 非常時等の対応  | ㊳  | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか  |   | ○  |   |  マニュアルは「社会福祉法人きぼう」全体で共通したものを使用している。保護者には周知していない。 |
| ㊴  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか  |  ○ |   |   | 令和2年度は10月に火災訓練、11月に地震訓練（利用児参加）を行った。 |
| ㊵  | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか  |  ○ |   |   |  管理者が研修会に参加し、職員に報告を行っている。 |
| ㊶  | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか  |   |   | ○  |  現在、身体拘束の必要な子どもの利用は無い。 |
| ㊷  | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか  |   |   |  ○ |  卵・小麦・ナッツアレルギーについて、保護者からの指示に従い対応している。 |
| ㊸  | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  |  ○ |   |   |  「ヒヤリハット」を作成し、職員全員で共有している。 |

○この「自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。